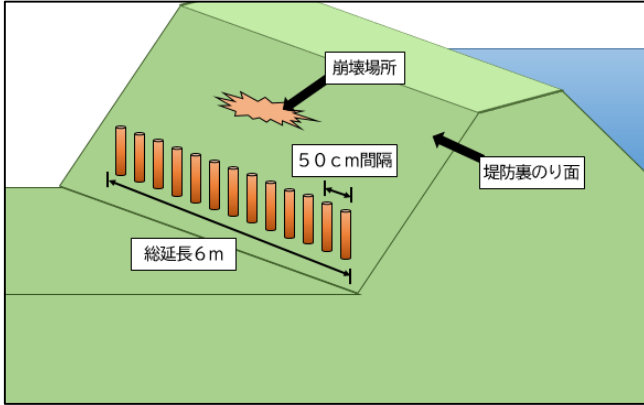


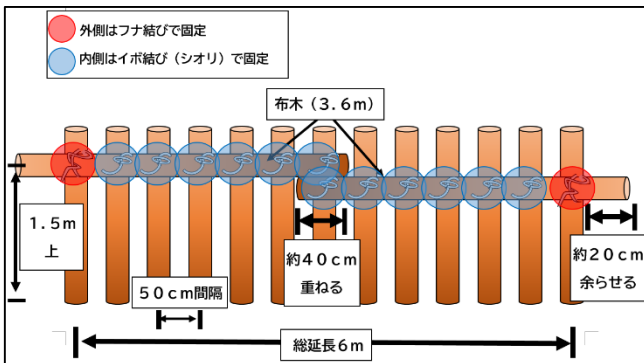
8 杭打積土のう工 (1 / 3)

(1) のり崩れの下部に、並杭 (1.8 m) を 50 cm 間隔 (総延長 6 m) で、13 本打ち込む。



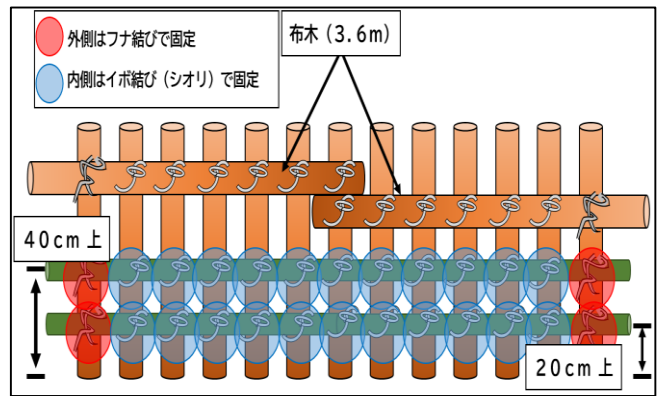
(2) 並杭 (1.8 m) の下部から 1.5 m 上のところに、布木 (3.6 m) 2 本を設置する。

藁縄で、外側はフナ結び。内側はイボ結び (シオリ) で固定する。

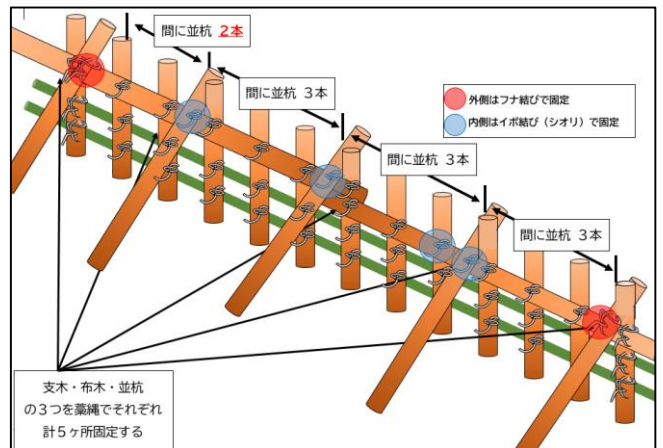


(3) 下から 20 cm 上と 40 cm 上のところに、竹 (3 m) を並べる。

藁縄で、外側はフナ結び。内側はイボ結び (シオリ) で固定する。



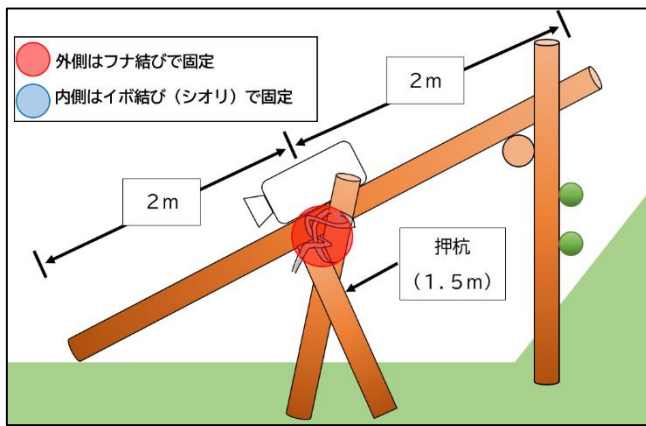
(4) 支木 (4 m) 5 本を、布木に立て掛ける。支木・布木・並杭の 3 つを藁縄で固定する。



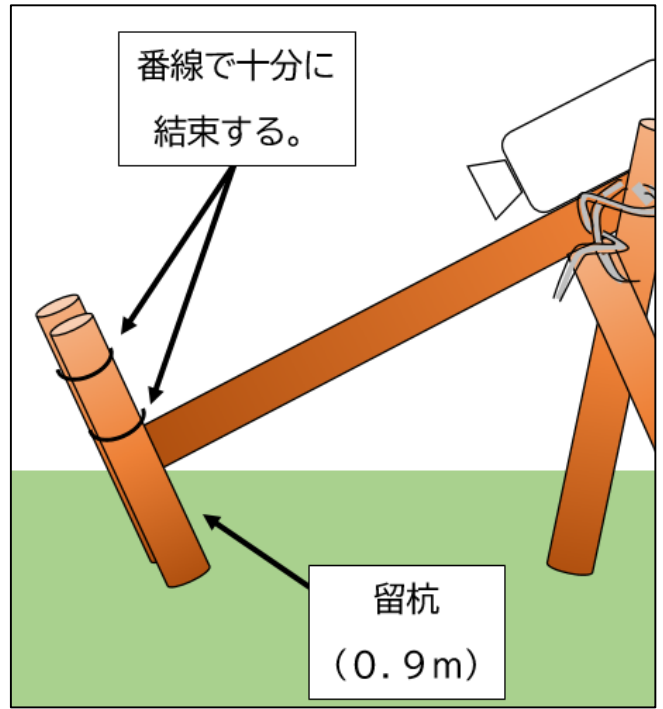
8 杭打積土のう工（2/3）

（５）支木の間部分に、押杭（1.5 m）2本を計5か所、はさんで打ち込む。

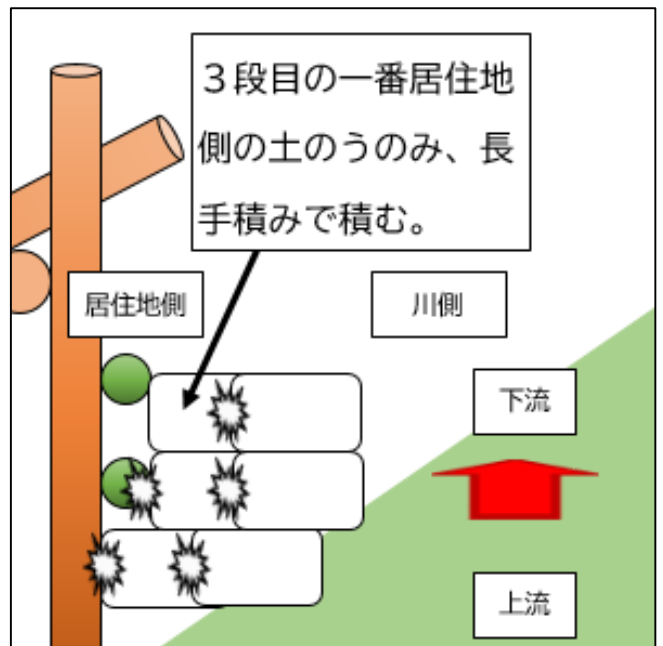
支木と押杭を藁縄で、十分に結び付け、重し土のうをのせる。



（６）支木の根本に、留杭（0.9 m）を2本並べて、計5か所打ち込む。留杭2本は番線で十分に結束する。



（７）土のうを堤防に沿って、小口積みで積む。ただし、3段目の一番居住地側の土のうのみ、長手積みで積む。しぼり口は下流に向ける。



8 杭打積土のう工（3/3）



8 杭打積土のう工

資材（1組あたり 総延長6m）				
土のう （線無し）	竹 （3m）	支木 （4m）	布木 （3.6m）	並杭 （1.8m）
140袋	4本	5本	2本	13本
押杭 （1.5m）	留杭 （0.9m）	番線 （0.8m・2.5m）	藁縄	
10本	10本	各10本	3玉	
器材				
掛矢	たこづち	鎌	シノ	ペンチ
4個	3個	3個	3個	2個